

# 平成22年病虫害発生予察指導情報

対象病虫害：ナシ・シンクイムシ類（No.1）

平成22年8月3日  
鳥取県病虫害防除所

## 1. 情報の内容

性フェロモントラップの誘殺数が、例年と比較して多い地点が散見される。今後、シンクイムシ類の発生が増加する時期を迎えるため、防除の徹底が必要である。

## 2. 情報の根拠

- (1) 7月下旬現在、シンクイムシ類の誘殺数が多い地点（図1、2）が散見される。
- (2) 向こう1か月の気象予報は、本種の発生にやや好適である。今後、シンクイムシ類の発生数が増加する時期を迎えるため、防除の徹底が必要である。

## 3. 防除上注意すべき事項

- (1) 二十世紀、豊水などでは、アグロスリン水和剤2,000倍液などを使用し、収穫前の防除を徹底する。なお、アグロスリン水和剤はカメムシ類に対する効果も高い。
- (2) 晩生品種（新高、新興、王秋他）は、8月中下旬～9月中旬頃が重要な防除時期となるため、アグロスリン水和剤2,000倍液、フェニックス顆粒水和剤4,000倍液などを使用し、防除を徹底する。
- (3) 園内のクリーン作業を徹底する。授粉樹の摘果、裸梨、被害果の徹底処分など、シンクイムシ類の発生源は早急に除去する。

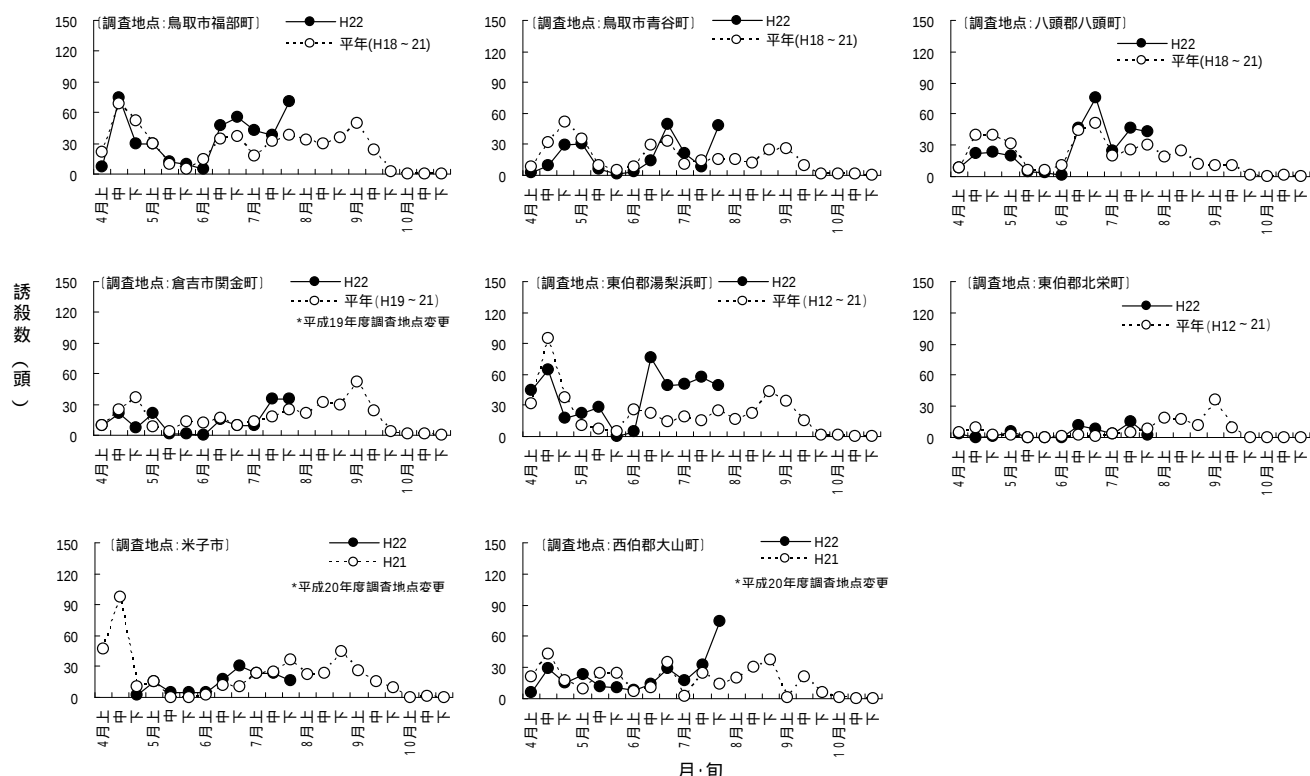


図1 フェロモントラップにおけるナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺消長

\*調査は各普及所、防除所で実施

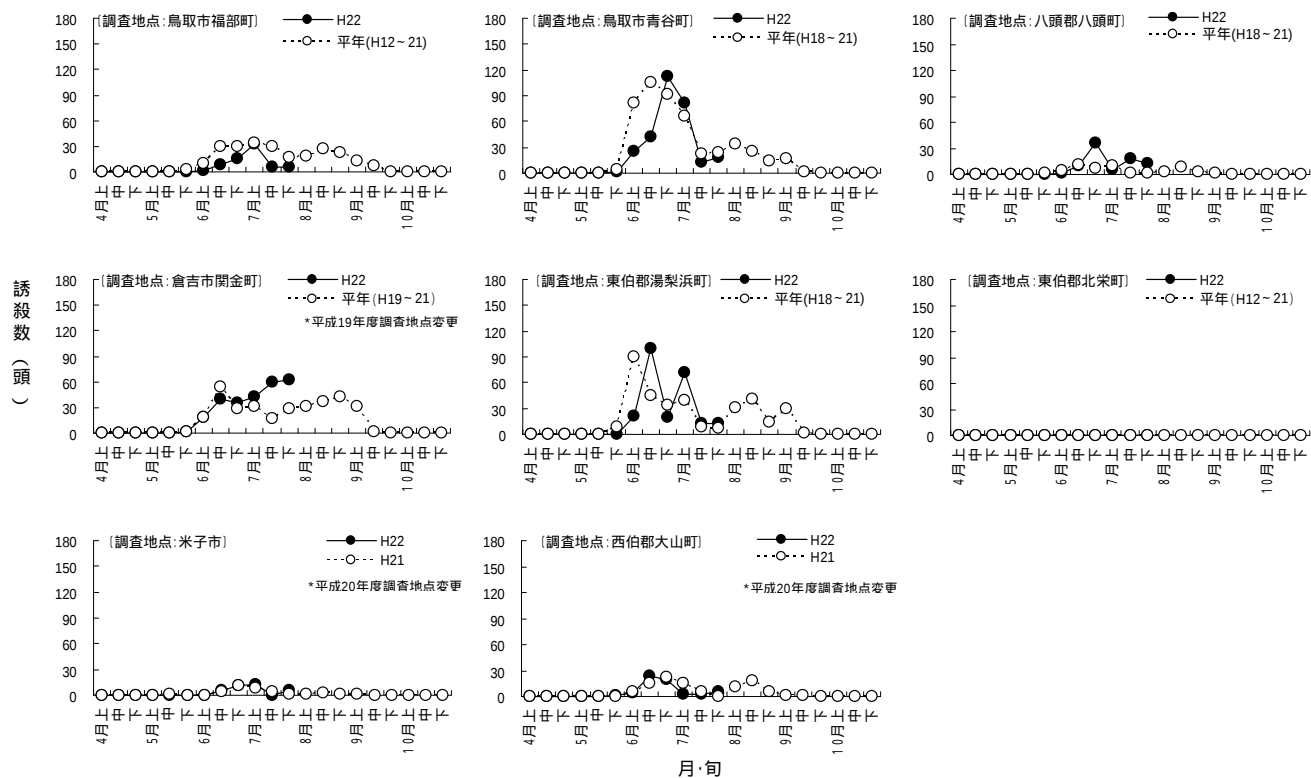


図2 フェロモントラップにおけるモモンクイガ雄成虫の誘殺消長

\*調査は各普及所、防除所で実施